

千船病院

内科

指導担当医（役職）

尾崎 正憲（循環器内科部長、第一内科系副院長）

実習概要

概要

医療チームの一員となって行う診療参加型臨床実習を基本とします。初期研修医または専攻医と行動をともにし、常時2～3人程度の患者さんを担当します。入院時に入院診療計画をたて、日々回診を行います。多職種カンファレンスやNSTラウンド等にも立ち合い、チーム医療に参加してもらいます。担当した症例は症例カンファレンスでプレゼンテーションを行います。また、可能な範囲で基本的な医療行為を体験できる機会を作りたいと考えています。

医療面接

入院時には、入院診療計画を立てる上で必要な病歴を聴取し、身体所見をとります。

毎日、担当患者さんの回診し、不足した病歴聴取や身体診察を行います。

常に患者さんの社会的背景を考え、入院診療計画の立案と見直しを行うよう指導します。

希望があれば外来の初診患者さんの問診や身体診察を行います。

身体診察

毎日、担当患者さんの身体診察を行います。

一般的な理学的所見の取り方について、一通りマスターできるよう指導します。

循環器内科では、特に心雑音や肺音の聴診、また心不全徴候などの所見を体得できるようトレーニングを行います。

カルテ記載

毎日、担当患者さんのカルテ記載を行います。指導医が必ずカルテの記載内容を確認し指導します。

症例プレゼンテーション

各科で行われている症例カンファレンスでは、担当した患者さんの症例プレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

毎週水曜日の朝に総合内科カンファレンスを行っています。総合内科専門医が、各週の内科入院患者や外来受診患者、救急搬送患者の中から興味深く教訓になる症例をピックアップして、Q&A形式で解説します。

毎週水曜日の夕方に研修医レクチャーを行っています。プライマリ・ケアに関連した実践的な内容となっているため、興味のある方にはぜひ参加してもらえればと思います。

学生へのメッセージ

実際に診療することでいろんな知識や技術、態度が磨けます。時間の空いた時には、受持ち患者さん以外の症例にも目を向けてみてほしいと思います。

当院は中規模な急性期総合病院です。救急搬送数が多くコモディージェズを数多く経験できます。また診療科間の垣根も低いため、他科との関係も良好です。医療者間のコミュニケーションの重要性も学んでもらえればと思います。